

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	乗用車販売店 （統括）	販売量の動き	・ 9月までのエコカー購入補助金の効果で、販売量は前年比190%と大変好調である。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・ 5月、6月の最悪期よりは多少持ち直している程度で、7月、8月の売上をみても確実に上向いているという状況ではない。テナントの売上もまちまちであり、7月と同様の状況である。
	やや良く なっている	コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・ 今月は猛暑の影響で、飲料、氷、アイスクリーム等が非常に好調である。特に週末は近くの運動公園のスポーツ行事に伴う利用で大幅な増加もあり、客数・売上共に前年に近い状況で推移している。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・ 今月は猛暑で、アイスクリーム、スポーツドリンク等が非常に好調で、昨年と比べ悪化していた売上が改善している。
		コンビニ（営業 担当）	販売量の動き	・ 猛暑の影響で、清涼飲料やアイスクリームといった冷たい商品の需要が多い。また、週末も好天が続くため家族連れ等の行楽が多いことも売上プラスの要因となっている。
		衣料品専門店 （地域ブロック 長）	来客数の動き	・ 前年に比べ来客数が増加している。
		乗用車販売店 （副店長）	来客数の動き	・ エコカー購入補助金と7月1日発売の新型車効果で、来客数、販売台数共に増加しているが一時的なものである。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・ 今月に入りエコカー購入補助金終了の駆け込み需要が極端に増えている。
		その他専門店 〔海産物〕（経 営者）	来客数の動き	・ NHKの連続テレビ小説放映効果が継続しており、来客数が多い。
		その他専門店 〔和菓子〕（営 業担当）	販売量の動き	・ 例年盆を過ぎると販売量が低下するが、今年は労働組合やスポーツ等の全国大会の影響もあり順調に推移している。
		観光型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・ ホテル内のイベントの売上額が過去最高額となった。
		都市型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・ 当月は宿泊客数で対前年4.6%増と好調に推移している。料飲部門も7月の参議院選挙終了後から宴会件数などが回復している。また猛暑の影響でレストランの売上も好調である。
		都市型ホテル （従業員）	来客数の動き	・ 2011年10月の山口国体を控えていることもあるが、宿泊や宴会で受注が増加している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・ 1人当たりの売上は前年比10%増が継続している。全体的には2年前の売上の状態に戻って安定している。8月は学生の全国行事や10月末から開催される「第25回国民文化祭・おかやま2010」関連により、タクシーの利用は増加している。
		テーマパーク （管理担当）	来客数の動き	・ 前年と比べ来館者数の伸びが良くなっている。
		その他サービス 〔介護サービ ス〕（管理担 当）	競争相手の様子	・ 同業他社は増収増益、利用者が増加している。戦略もあるが景気の上向き傾向がうかがえる。
		変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き
商店街（代表 者）	販売量の動き		・ 人出も悪いが猛暑にもかかわらず夏物の動きが悪い。	
百貨店（販売促 進担当）	お客様の様子		・ 梅雨明け後酷暑が続く、帽子、傘など夏アイテムは順調だが、秋物は2けた以上のマイナスとなり、ファッション部門の低迷要因となっている。昼のミセス層の来客数も減少している。また、円高、株安の傾向は再び高級品の動向への懸念材料となる。	

百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ 8月初めは猛暑の影響でUV関連商品や紳士用品の売上が伸び、7月に低迷していたミセス衣料のセールも浮上して好調に推移した。盆は分散化で16日まで前年並みで推移したが、盆以降は初秋物の出足の鈍さと夏物の単価ダウン傾向でやや苦戦している。店全体としては前年比100%の売上の見込みである。なお、猛暑で市内中心部より郊外型の店舗の売上が比較的好調であった。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・ 例年だと秋物が動き始める時期だが、厳しい暑さが続きほとんど動きがみられない。一方、バーゲン商品となっている夏物については、単価が最も安い時期となっており客単価も上昇せず厳しい状況が続いている。しかしギフト解体商品で、食に関する買得感のある商品については、客が行列を作り待ってでも購入するという傾向は変わっていない。
百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・ 物産展催事の客単価下落が象徴するように、買上数、単価とも減少傾向にある。
スーパー（店長）	単価の動き	・ 景気とは別に猛暑の影響で飲料、デザート、サラダ等の販売が伸びて数字的には良くなっているが、客単価は3か月前と同様に推移している。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・ 猛暑が続き飲料、冷凍食品、アイスクリーム等は好調だが、野菜の値上がりもあり全体の販売量は厳しい。
コンビニ（営業担当）	来客数の動き	・ 猛暑で前年に比べ客数が増加しており、ソフトドリンク、アイスクリームの販売が好調である。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ 3か月前と状況の変化が感じられない。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・ 例年夏休みは冷房設備の整ったところへ人が集まるが、今年は猛暑で家から外出する回数が減少しており、平日は客数が減少している。
衣料品専門店（販売促進担当）	お客様の様子	・ 今月は先月に続き客数、売上も昨年を上回っているが、バーゲンの時期だけに本当に買得感のある商品を求める客が多く節約志向が目立っている。盆以降は猛暑が続き平日は来客数が非常に少ない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・ 景気そのものが低迷しているなか追い討ちをかけるような猛暑で来客数は減少している。電話による問い合わせが増えているが、販売には結びついていない。
その他専門店 [時計]（経営者）	それ以外	・ 客はメガネ、時計は必要とあれば購入するが、宝飾品等は記念品等以外は購入につながらない。
その他専門店 [布地]（経営者）	お客様の様子	・ 夏物は多少動いたが秋物は客が見ようとしていない。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ 週末はまずまずの来客数があるが平日は少ない状況が続いている。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・ 夏の猛暑の影響があり、来客数は昨年以上で推移しているものの、小サイズの物が好まれ客単価の減少につながっている。
その他飲食 [サービスエリア内レストラン]（支配人）	お客様の様子	・ 引き続き飲食関係の動きが鈍い。以前はレストラン、フードコートの内いずれかが悪い状況だったが、ここ数か月は今までになくどちらも悪い状況が続いている。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・ いくつかの宴会のプランのなかでも安価なものばかりの利用が目立ち、客単価が上昇していない。
タクシー運転手	来客数の動き	・ イベントの関係で昼の稼働はあったが、夜の仕事がなくなっている。
タクシー運転手	来客数の動き	・ 8月に入り売上は若干持ち直している。この夏の炎天下で利用者は多いが客単価が悪い。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・ 先行きの見通しが困難で、購買を見合わせるという傾向がうかがえる。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ 新規のネットワーク構築の情報はなく、既存の変更・更新のみで景気状況に変化はない。
通信会社（広報担当）	お客様の様子	・ 来客数の状況は昨年度対比で増加傾向とは言えない。販売量も微増程度のほぼ横ばいであることから、今後も注意深く客の動向を見守っていく必要がある。
競艇場（職員）	販売量の動き	・ 発売金額及び入場者数が横ばいで推移している。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・ 相変わらず低価格志向が続いており、安くて良いものを求める状況は変わらない。

	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・官公庁の入札指名があっても受注に結びつかず、民間工事にも活発な動きがみられない。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・リーマンショック以降建築物価の底値が続いていたが、このところ値上げに転じる動きがある。予算が厳しい時代なのでプロジェクトが成立し難くなっている。
	住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・住宅ローンの金利優遇、住宅エコポイント、優良住宅取得支援制度など景気対策はあるものの、本年12月末をもって制度が終了するため、今後の動向を見極めている感が見受けられる。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑の影響もあるが、例年だと忙しくなっても良いところだが昼を過ぎてからの来客が少ない。
	商店街（理事）	来客数の動き	・暑さの関係もあるが3か月前と比べ買物を出控える傾向にある。
	一般小売店〔靴〕（経営者）	単価の動き	・今までなかったことだが、このごろ「一番安い紳士靴の値段はいくらか」という問い合わせが入ってくる。
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・あまりの猛暑に日中の来客数が減少している。食欲も落ちているようだが、この暑さで火を使う料理をせず簡単な料理で食事を済ませる傾向にある。飲食店の夜の来客数も減少しており、盆の1週間を除き人の動きが悪くなっている。
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	販売量の動き	・良くはなっておらず徐々に悪くなっている状況が続いている。業種にもよるが今まで良かったスナックなどの料飲店も売上が減少している。
	一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・観光客の客数は相変わらず好調であるが、地元住民の利用が激減しており全体として悪くなっている。
	一般小売店〔印章〕（営業担当）	来客数の動き	・今までは新しいショッピングプラザが開店しても、駅周辺のショッピングプラザへの大きな影響はなかったが、新駅に大規模なショッピングプラザが開店した以降売上が激減しており、市民の買物が二極化、分散してきた。一般客相手の駅周辺の店が大変厳しい。
	百貨店（売場担当）	それ以外	・近隣商店街の店舗閉店も相次いでおり、もはや機能していない状況のなかで利便性や品ぞろえなどあらゆる面で後れを取っている。景気自体は緩やかな回復基調にあるのだろうが当店では全く実感が無い。
	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・昨年夏休み及び盆にかけて実施し7万人以上の来客があった人気催事は、今年は前年の8割にも満たない来客数となり売上にも大きな影響があった。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・猛暑の影響もあるが、7月の反動で8月は伸び悩んでいる。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価が先月より減少しており、1人当たりの買上点数も減少している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・残暑が厳しく秋物の動向が非常に悪い。反面夏物の在庫も少なくなっており客のニーズに対応する商品がない状況であり、そのせいか客の購買意欲の低下を感じている。
	スーパー（開発担当）	単価の動き	・猛暑の影響で野菜の価格が高止まり、食肉の動きも悪く、飲料、アイスクリームの売上だけでは全体がカバーできない。
	スーパー（財務担当）	単価の動き	・1点単価の下落により客単価が前年の98%まで低下している。
	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・猛暑の影響で本来の商品の流れが変化しており、一部の商品のみ売れ本来売れるべきものが売れておらず、景気そのものが良くなっていない。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・毎週土日に開催するイベントでは、来客数がなんとか前年並みで推移しているが今後は減少に向かう。
	乗用車販売店（サービス担当）	販売量の動き	・新車店舗では、悪いと言う状態ではないが目標数値に対して徐々に販売数量が厳しくなっており、来月のエコカー購入補助金の終了後が懸念される。
	自動車備品販売店（経営企画担当）	販売量の動き	・新車の売上が好調であるがタイヤの売上が低調に推移している。新車が売れて恩恵があるのはナビゲーションくらいで、補修系の商品に対してはマイナスに働いている。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・食べたいものを食べるのではなく、単価の安いものを食べている。
	スナック	お客様の様子	・6、7月はあまり良くなかったが、客、同業者の様子からは盆以降更に悪くなっている。

		観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・宿泊予約は堅調に推移しているものの宴会予約は低調である。特に10月以降の入込は、現時点で前年の半数にもおよばない。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・景気回復の兆しが全くみえず、消費者の動向も悪い。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・気温が高い日が多く外出の足かせとなっている。屋外の施設のため外遊びが敬遠され厳しい状況である。
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・猛暑の影響で屋外の観光施設は大きく来客数を落としている。屋外でのイベントの参加者も暑さのため敬遠され減少している。
		ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・7、8月と猛暑により来場者が激減している。コースの状態も悪いため、単価を下げて集客をはかっているが売上の確保が厳しい状況である。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来場者数は3か月前に比べ半減している。
悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・例年8月はバーゲン月で売上が伸びる時期だが、猛暑の影響で来客数が非常に少なく売上が低迷している。猛暑の影響だけでもないが、客の購買意欲が非常に低迷していることを懸念している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街の動向は年々悪くなる一方で、店主も生活費を抑えてなんとか店の経営をしている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑で客足が鈍っていることに加え、客は景気の先行きへの不安感を持っている。
		一般小売店【茶】（経営者）	来客数の動き	・猛暑のため毎年のイベントも人出が少なく、売上が減少したところが多い。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年を超過し始めているが、買上点数、1品単価が上昇せず客単価が維持できないことから売上が厳しい状況である。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・一過性とは思いますが猛暑の影響で売上は前年比1割弱減で推移している。これだけ暑いと特売等をやっても効果は期待できない。なお、最近は商品の価格を下げて売れなくなっている。
		住関連専門店（広告企画担当）	来客数の動き	・盆休みの時期でも来客数が少ない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・猛暑の影響で人の動きが非常に悪くなっており、来客数の減少が著しい。
		一般レストラン（店長）	競争相手の様子	・競合店でも集客に苦戦しており、飲み放題・食べ放題の企画が目立つが、それだけしないと集客ができない状況でますます厳しくなっている。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・客単価が低くなっており、競合他社との料金出で苦戦している。また、夏の定番メニュー等人気商品だけでは売上は見込めず苦戦している。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・同業者との話では、売上は前年比、前月比ともに減少する悪循環となっており、対応に苦慮している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・例年夏場は来客数が増えるが、今年は通常時と変わらず良い状況ではなかった。
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車業界の生産台数の増加に伴い受注が増加している。
	やや良くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は計画を若干上回って推移している。特に暑さをしのぐため水に溶かして飲むような商品の売上が好調である。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・まだまだ回復し始めたばかりだが、少しずつ上昇する傾向にある。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・製造業では、中国に発注していた親会社の仕事が中国ではこなし切れず国内に戻ってきており、受注量が昨年よりも増加する傾向のところがある。	
変わらない	食料品製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・スーパー関係の受注価格の低迷は継続しているが、個人取り引きである通販部門では件数の増加はないものの個別単価はそれほど低下していない。	
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工場は依然としてフル稼働していない。	
	窯業・土石製品製造業（総経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け受注は回復しているが、自治体向けゴミ焼却炉用の注文が非常に少ない。このため焼却炉向け製品を主に製造しているラインでは依然として休業を実施している。	

		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・顧客の在庫調整の影響から、エレクトロニクス関連の受注が徐々に減少気味であるが、全般的な受注量は大きな変動はない。
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・今まで好調だった液晶やエコカー分野で受注にかけりがみられるが、当社事業全体としてはまだ大きな動きにはなっていない。
		金属製品製造業（総務担当）	取引先の様子	・得意先には中国向けの大型案件があるものの、受注までには至っていない。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・国内向けの自社製品の売上は、秋商品をメインとした展示会で前年実績を上回り伸びつつあるが、海外向けは依然として厳しい状況が続いている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・流通の動きが鈍く慎重な姿勢に変化がない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・リーマンショック前のピークと比べ、受注量は90%程度まで回復している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に悪いことも良いこともなく、悪い状況が続いている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・小口物件でなんとかやりくりしている状況である。
		通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・先月から引き続き販売価格は厳しいものの、受注量は上向いている。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・部品サプライヤーの国内生産は前年比で増加基調を継続しており、リーマンショック前のピークの8割程度に回復している。なお、ほとんどの工場で残業・休日出勤が増加しており、利益も増加傾向を継続している。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の業況について月次で管理しているが、状況に大きな改善はない。売上は毎年減少するなか、経費削減によりなんとか事業を継続している。ただし、この数か月をみると、過去の下げ幅が大きかった分、売上減少幅は縮小している。前年同月比でプラスを維持している企業もあり、業況は3か月前と大きく変わらない。
	やや悪くなっている	繊維工業（統括担当）	それ以外	・円高、株安、政治の混乱等下向きの雰囲気しか感じられない。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先から発注の減量についての修正が散見される。
		輸送業（運送担当）	取引先の様子	・運送業者の得意先の件数が徐々に減少してきており、発送量にも影響がでている。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数及び成約件数が減少している。
		その他サービス業〔建築物清掃業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が下落している。
	悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・7月の状況を3か月前の4月と比較すると、水揚数量は193トン、水揚金額は3,440万円の減少である。その原因は沖合い底引き網、中型巻網、イカ釣り船の減少によるものである。また、前年同月と比較すると、水揚数量は1,198トン（前年同月比242%）、水揚金額は8,200万円（前年同月比131.5%）の増加である。その原因は大・中型巻網、イカ釣り船、小型定置網の増加によるものである。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・海外販売は非常に順調で10%以上の伸びを示しているものの、国内販売は8%減で相変わらず低迷が続いている。特に高級商品が不調で低価格化の傾向は変わらない。国内販売商品が主なので、受注減とコストダウンを迫られている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・製造業からの派遣依頼が多くなっている。特に作業職に関しては、一度にまとまった人数の依頼を受ける事も多くなっている。ただし、以前のように「長期」ではなく、期間限定の繁忙対応要員であるため、先行きはまだ不透明である。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・基幹産業の製造業は8か月連続して前年同月比で増加している。特に好調な電機、自動車関連産業の影響や観光土産物品を中心とした食料品製造業からの求人が目立っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業者からの公共工事受注による建設作業員の求人、派遣、請負業者から海外受注増加による製造工の求人、警備業者から道路工事の増加による道路誘導員の求人等が増加している。他の業種の求人数の変化はなく、求人数が減少傾向にあった業種から求人数が増加している。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・7月の新規求職者数は、前年同月比、前月比ともに大幅に減少した。学校が夏休みに入ったため、特に女性の数が減少している。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・自動車製造業界の復調が徐々に周辺業界へ波及し始めている。最近は大手特定派遣業界、小規模メーカーでいずれもエンジニア職の依頼が目立っている。また、事務系も少しずつではあるが増加傾向にある。
変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・前年比98%程度で推移している。
	求人情報誌製作会社（支社長）	求人数の動き	・メーカーを中心に求人ニーズが増加しているが、円高の影響で先行きがやや不透明となっている。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	求人数の動き	・県内の各企業の総務・人事担当者からは、製造業を始め様々な企業がまだ景気が回復しているという実感が無いという話をよく聞く。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求職者数の動き	・ここ1、2か月有効求人倍率が少し改善したように見えるが、地方では必ずしも数字どおりの状況とはなっていない。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・盆を過ぎ求人数は増加しつつあるが、今後については不透明である。また、この伸びは7月中旬からの落ち込みが戻っただけと見ることもできる。
やや悪くなっている			
悪くなっている			